

(1) 株式會社
岡島新聞鋪
全景。

株式會社 岡島新聞鋪新築工事

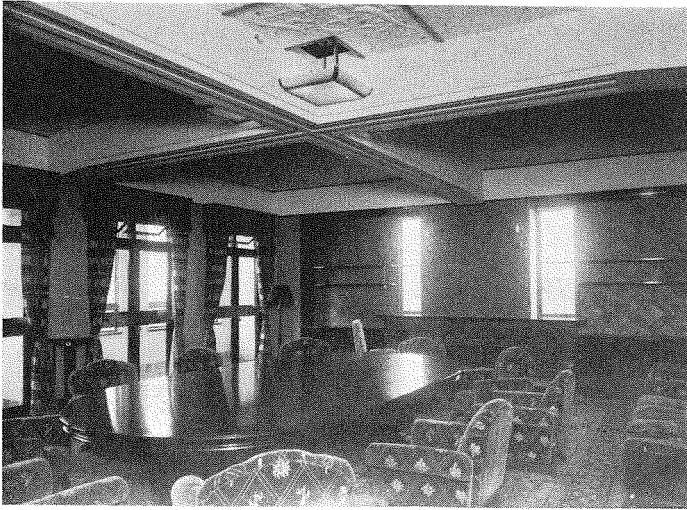
設計・石本建築事務所

建物所在・大阪市西區阿波堀通1丁目4番地
 工 程・昭和11年1月6日起工、昭和11年
 10月17日竣工。
 構 造・鐵筋コンクリート造4階建、地階
 付、基礎は杭打地形とす。
 建築面積・93坪777。

總延面積・521坪304。

内譯 地階 98坪30、1階 93坪777、2階97
 坪449、3階97坪893、4階100坪180、同上
 部21坪338、屋上塔屋11坪767。

高 さ・新地盤よりパラベット上端迄64.4
 尺、新聞名標示塔旗竿上端迄118.0尺。

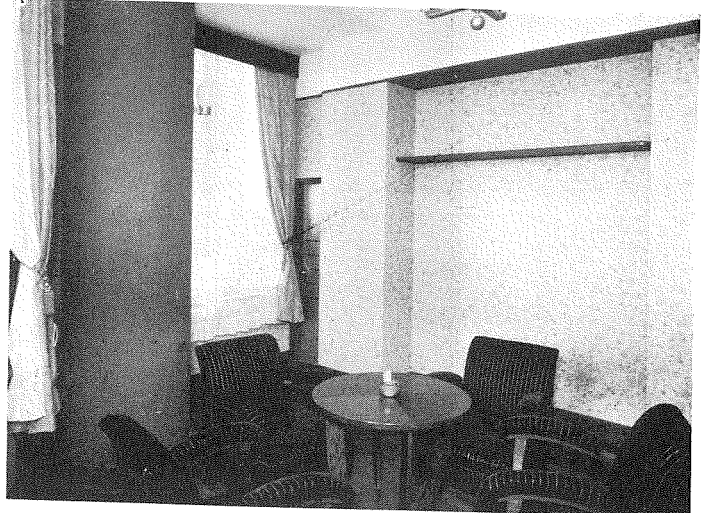


(7) 岡島新聞
鋪貴賓室。

←

(3) 同上特
別應接室。

→



外部仕上…表側3面とも淡クリーム色クスリ
かけタイル貼り、1階柱型並に巾木廻りは
折壁石貼り、地階川側淡色モルタル塗。
内部仕上…床は各階とも廊下廻り人造石塗研
出仕上、廊下廻りを除く他はすべてフロア
リング・ブロック貼り仕上。
壁並に腰廻りは主として漆喰塗仕上とす、
第4階集合室はキルクベンキ吹付仕上、同
じく歩廊並に階段廻りは色モルタル吹付仕
上げとす。
天井は主として壁體同様漆喰壁仕上とし、
集合室のみキルクベンキ吹付仕上とす。
窓・出入口は外廻りに面するものはすべて

スチールサツシユ並にスチールドアを用
ひ、窓は何れもエアータイト型上げ下げ窓
障子を用ふ。東側隣家に面する窓は總てシ
ャッターを設備し、何れも透明板硝子を用
ひ、貴賓室の窓にはエツチング・グラスを
使用する。

特殊設備…表側電車通に面する壁面に新聞掲
示板を設け、北西角隅切面には臨時ユース
等を掲出する垂幕を引上げる装置を設
く。

附帯設備…煖房装置 真空還水式蒸氣煖房装
置にして、地階機械室に設置せる低壓蒸氣
汽罐1基に依り發生せる蒸氣を主管を経て



(4) 講演場
前ホール。

各立上り管を通し各室内に設けたる對流放熱器に導く。而して夜間連続的に使用する室に對しては特に温水暖房の装置を用ひ別に暖房をなす。主要なる設備はアサヒボイラーS310-0型1基、ニューラデオボイラーNo. 104型1基なり。

排氣装置 1馬力電動機直結シロツコ型排風機を設備し地階、3階浴室並に暗室の排氣をなす。

消火栓設備 各階1個所宛計6個所に消火栓を設け各30尺のホース2本宛備へ高壓なる水を放出する爲別に蒸氣ポンプを置く。

上給水設備 市水道本管より2吋分岐管を

引込み屋上水槽に揚水し、之より各階に給水を爲す。

給湯設備 地階機械室にストレージタンクを置き暖房用汽罐よりの蒸氣により加熱し自然循環式により各階給湯所に送る。

塵芥焼却装置 各階に設けたるホツパーに投下する雜芥をコンクリート製ダストシュートに依り塵埃焼却爐に導き完全燃焼せしむるものとす。

昇降機設備 客用11人乗1臺、昇降速度毎分60米1基を設置す。

電氣設備 市電氣局より高壓にて供給を受け電氣室に設けたる變壓器にて電壓を降下



(5) 講 演 場。

(6) 會 議 室。

した上各所へ供給するものとする。
 電話設備としては本番實装4本、私設線30本、現在對共電式2座席交換機1臺を設置す。
 設計・石本建築事務所。

